

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第12回研修を開催しました！」

第12回の研修は、令和6年8月2日（金）、3日（土）に雫石町南畑のコテージむらで開催しました。

今回の研修では、野菜の生理障害や暑熱対策などの栽培管理、キャベツとだいこんの栽培についての講義、実習では野菜の収穫や管理作業、キャベツの定植などを行いました。

講義では、トマトを例に挙げ、要素の欠乏や過剰によって発生する生理障害の症状や対策、暑熱や台風が発生した場合の対策について学びました。

栽培野菜の収穫や管理作業を行うとともに生育状況をよく観察して、生理障害などへ素早く対応できるよう意識したいと感じました。

休憩のあと実習に入り、初めに、トマトなどの果菜類を収穫しました。前回の研修からの間で大きく実った栽培野菜と対面し、受講生は手際よく収穫していました。続けて、さといも

やねぎ、えだまめの追肥及び土寄せ作業を行ったあと、キャベツ苗の定植とだいこんのは種を行いました。

受講生からは、「自分でもなす、トマトを栽培しているので、高温障害等の症状が参考になった。」、「追肥、土寄せのタイミングが勉強になった。」などの感想が寄せられました。

今回の実習は、盛りだくさんの内容であり、両研修日も気温30℃に迫る中での実習でしたが、小休憩中に積極的にコミュニケーションをとる方や栽培野菜の生育状況を熱心に観察する方など、暑い中でも受講生の士気はとても高いように見えました。

次回の研修は、8月23日（金）、24日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて、外部講師をお招きして、岩手の果樹栽培についての講義と、実習では栽培野菜の管理などを行う予定です。



講義「栽培管理③」についての様子



ピーマンの主枝を麻紐に誘引する受講生



キャベツの苗を定植する受講生



じゃがいもを収穫する受講生